

広 報

# いかわ



## 「手を取り合ってしめ飾りづくり」

11月29日、井川小学校で行なわれた「小学生と高齢大学の交流学習」しめ飾りづくり。

おじいさんたちの手でささっと組み立てられていく「しめ飾り」に生徒たちも最初はぎこちなく。でも最後のミカン付けの作業は「共に手を取り合って」の一コマ。

2006  
December

平成18年  
12月1日発行

12

## 自ら考え行動する

# ボランティア活動とまちづくり

## 平成18年度いかわを拓く町民のつどい「地域づくりは自分づくりから」

町では、これまでも多くの町民たちの参画をもとにまちづくりを行なってきました。これからは人とのつながりを実感し、社会とかがわり合いながら、より良い地域でより豊かな生活を実現するため、様々な場面で住民と行政とが知恵を出し合いながら共に汗する協働のまちづくりをなお一層進めていく必要があります。

### ボランティア実践事例から学ぶ

去る11月26日、町農村環境改善センターを会場に「平成18年度いかわを拓く町民のつどい」が開かれ、約90人の町民が参加しました。この町民のつどいは年に一度、その時々地域の課題について取り上げて、住民と行政とが共通の認識をもって課題解決に向けた提言や意見を出し合う場として開催されてきました。

今年度のテーマは「ボランティア活動とまちづくり」。町内のボランティア実践事例を知り、それぞれが身近にできることから活動に参加し、住み良い地域づくりを進めていくために情報や意見を交わし共に考えることがねらい。

### ボランティア活動とは…

近年、私たちの生活をとりまく身近な地域社会や学校など様々な場面で、福祉や環境分野等においてボランティア活動が多様な広がりを見せています。本来ボランティア活動とは、個人の自発的な気持ちによる活動で、これといった決まったかたちはありません。「より良い地域をつくりたい」「困っている人の力になりたい」などそれぞれの想いを行動として表すものがボランティアのかたちとなるのです。すなわち、みんな

なが共に手を取り合って豊かに暮らしやすい社会づくりを目指すこと、身近なところで、自分ができることを自らの意志で活動することが大切なのです。

一般にボランティア活動に必要なとされる要素は①自主性・主体性（他から強制されることなく自発的な意思で行なう活動であること）②社会性・連帯性（他と共生していく上で、互いに支え合う活動であること）③無償性・非営利性（自らの利益を求める活動ではないこと）④継続性⑤創造的な活動であること（何が必要であるのかを考え、より良い地域社会を創る活動）と言えます。あなたも身近で出来ることから考えてみませんか。



### 地域づくりは自分づくりから

ボランティア活動を通じた住民と行政との協働の地域づくりについて能代市二ツ井町ボランティア協議会会長の木村高寛氏から講演をいただきましたので紹介します。

◆◆◆◆◆

ボランティアは相手の気持ちになつてやること。面倒くさいなどという気持ちは相手に伝わってしまう。相手の家におじやまして、帰るときに自分の温もりを感じてもらえたかどうか、自分の優しさや思いやりが相手に届いたかどうかということ。

最近若い人のボランティアが少なく、新たに活動を始める人が不足しています。私たちの組織でも設立当時700人いた会員が20年を経て現在は500人まで減りました。現在の平均年齢は65歳位、設立時は55歳位

▲活動現場のエピソードを交えて講演する木村高寛氏



でしたのでボランティアをする人も高齢化してしまいました。行政と住民との協働のまちづくりを考えるとき、自分たちで出来ることをやるのがボランティアの役割であり、行政で出来ること、住民が出来ることを整理して互いに対峙することなく、同じ方向を目指していることが大事。地域づくりは人づくりから、人づくりは自分づくりから、自分づくりは心づくりです。ボランティア活動は心づくりにつながるのです。

パトロール隊の主な活動は、小・中学生の登下校時の見守りと地域の高齢世帯への訪問活動です。

活動を始めた当初

の子どもたちは知らない人からの声かけに応じないように指導されているようで、声をかけてもあいさつが返ってこないような状況でしたが、今では笑顔で受け答えできるようになったほか、地域の方々からも「ごくろうさん」と声をかけられる様になり、ようやく認知されてきたのかなと実感しているところです。

組織を立ち上げるにあたり、様々な苦労がありました。この隊も協議の開始から1年を経て活動にこぎつきました。やはり何をするにも首頭を取る人が必要。また、潜在的にボランティア活動をしたい人がいるはず。ただ大半の人は、リーダーとしてはちよつと…、という気持ちもあるのでしょう。そうした時に地域の組織が中心となつて、誰もが活動できる場をつくっていかないとはいけません。



潜在的にボランティア活動をしたい人がいるはず。  
誰もが活動に参加できる場、ボランティア活動の  
受け口をつくっていかないと。

「ボランティアとまちづくり」  
実践事例から学ぶ



ボランティアグループ「こはぜの会」

『いかわを拓く町民のつどい』で活動を広く知ってほしいと影絵を披露した「こはぜの会」のみなさんにボランティア活動の実践者として話を伺いました。

会を結成して20年の歴史あるボランティアグループのこはぜ

の会。会員は14人で、主な活動は町の子どもセンターや小学校、老人福祉施設や近隣の社会福

祉施設を訪問して、絵本の読み聞かせや手づくり紙芝居や影絵、また時には体を動かす手遊び歌など、子どもやお年寄りの方たちとのふれあい交流。

「会員それぞれが仕事や家庭を持っていて限られた時間をやり繰りしながらの活動です。紙芝居や影絵を分担しながら手づくりしたり、町公民館で練習したりしています。活字離れが進んでいる子どもたちに読み聞かせることで本を手にもしてもらうきっかけになればと活動を続けてきました」と話す代表の古戸浩子さん（横岡）。



▲町民文化祭期間中に行われたお話キャラバンで、紙芝居を読み聞かせる様子

「無理をすれば活動は長続きしない。できる人ができる範囲で活動すること。ボランティアを意識する前に、まず自分たちが楽しんで来るといったことが継続させるために必要な要素ではないでしょうか」と会員たちは笑顔を見せていました。

朗読ボランティア・あい

渡部 ちよさん（新聞）

グループの名前の由来は「愛情」の「愛」、そして英語で目を意味する「eye」から名付けました。私たちの活動は町の広報などをテープに吹きこみ、目の不自由な方々に届けること。

「声の広報」を始めたのは平成元年から。年老いて目が不自由となつていた母が町の有線放送から流れてくる声を熱心に聞いている姿を目にした事がきっかけ

かけでした。

活動にあたっては日常生活の空き時間を使い録音するものから、周囲の雑音が入ったりしてやり直したりと作業は長時間かかることもしばしばです。利用者の中には流行歌も入れて欲しい、この本を読んで欲しいなどと要望されることもあり、出来る限り応じています。

これまで活動を継続できたことは仲間とのつながり、助け合いながら楽しんで活動してきた

ことにつき

ます。このことで人のためにやってきたことが、実は「自分のため」になつて

たのだと気づかされました。

例え、利用者が一人になつたとしても、この「温かみのあるボランティア」をこの後も続けていきたいものです。





◀ 地域の花だんづくりも立派なボランティア活動の一つ



▶ ボランティア体験の感想を発表した  
櫻庭健太さん(左)・佐々木慶輝さん(右)

「ありがとう」の感謝の言葉と笑顔が、  
とても気持ち良いものだと感じました。

### ボランティア活動を体験して

井川中学校 櫻庭 健太さん

僕がボランティア活動でしたことは、一人で住んでいるお年寄りの家を掃除することです。

主にやったことは窓拭き掃除でした。窓ガラスだけではなく窓わくのふちもきれいにしました。窓拭きをした雑巾はあつという間に真っ黒になり、とても驚きました。高い場所はお年寄りには届かないのでほりりがたまっていました。お年寄りの手ではなかなか掃除できないと思つたところを心を込めて念入りに磨きました。拭き終わったあとは窓ガラスもすっきりきれいになり、とても気持ちよかったです。

また、活動してみても勉強になったこともあります。例えば、窓拭きには古新聞紙をぬらして使うと良いとか、水拭きのあとは乾拭きするとよりきれいになるとか、今まで知らなかったことを教えてもらうことも出来ました。

### ボランティアで訪れた家のお

ばあさんが掃除をしている時に話しかけてきてくれ、楽しそうに会話をした事も忘れられません。「ありがとう」と言ってくれたおばあさんはとても嬉しそうに笑顔でした。掃除は大変だったけれどお年寄りたちにとっても喜んでもらえ、やって良かったと思えました。

僕は今、中学生で学ぶことがまだまだたくさんあります。今回、訪問した家のお年寄りの人たちに教えてもらった事は今後も実行していきたいと思えます。またボランティア活動は大変なこともあったけど、とても気持ちの良いものだということに気づきました。

### ボランティアで学んだこと

井川中学校 佐々木 慶輝さん

中学2年になっての青雲の授業でボランティアを体験することになりました。活動の内容は一人暮らし高齢者の家の掃除をすることです。

まず一軒目の家まで自転車で行き、初めて行く家に少し緊張していたけど、おばあさんがやさしく話しかけてくれたのでほっとしました。家をきれいに掃除し終えた後に少し時間があつたのでおばあさんと学校のことなどいろいろ話をしました。とても楽しかったです。

二軒目の家は僕が知っていた所だったので迷わず行けました。ていねいに窓拭きをしてすごく疲れたけど、おばあさんから「ありがとう」と感謝されたことがとても心に残りました。

最後に行った家はおじいさんが一人暮らししている家で、恐い人なのかなと思っていました。話をするととてもやさしい人で良かったです。掃除は玄関や台所、居間の隅々までていねいに掃除しました。大変でしたが終わってみると、すごくきれいになっていて、とてもうれしい気持ちになりました。

ボランティアを通じて、人との接し方や、お礼を言われた時の気持ちよさを学びました。

### 健康センターからのお知らせ

ノロウイルスによる感染性胃腸炎が発生しています

急な嘔吐や下痢にはノロウイルスによる感染性胃腸炎を疑い、他への感染を防ぐために適切な対応をしてください。

◎嘔吐物やふん便はきちんと処理し、処理後は必ず次亜塩素酸ナトリウム(例・キッチンハイターなど)で消毒し、しっかりと手洗いを。

◎感染予防の基本は手洗いです。日ごろから流水と石けんで手洗いする習慣づけを。

【問い合わせ】町健康センター  
電話 (874) 3300  
有線 4455

### 産業建設課からのお知らせ

#### チップ乾燥用

#### カボチャ栽培説明会

□日時 12月15日(金)

午後3時から

□会場 農村環境改善センター

チップ乾燥用カボチャの栽培について関心のある方は、ご参集ください。

#### 【問い合わせ】

産業建設課 産業振興班

電話 (874) 4418

有線 4464

# 功績をたたえて

総務大臣表彰

町内外の各分野において活躍されている方や、地域活動を支えている方がたくさんいます。そうした長年にわたる活動が認められ、表彰された方々をご紹介します。

## 藍綬褒章

### ◆更生保護功績

勝田 忠司さん (羽立)



勝田さんは昭和56年から保護司に就任して以来、現在に至るまでの長きにわたり地域での犯罪予防活動や更生保護活動に努められ、地域社会の安全のため尽力されてきました。

また平成12年からは湖東地区保護司会会長、平成17年からは秋田県保護司連合会副会長の要職を歴任されています。

### ◆統計功績 (調査員)



鈴木 正勝さん (小今戸)

鈴木さんは昭和50年国勢調査から長きにわたり、統計調査の必要性を深く認識し、正確な統計調査に努められてきました。このほどの平成17年国勢調査における功績が認められての表彰となります。

### ◆統計功績 (調査員)



石井 紀悦郎さん (宇治木)

石井さんは昭和50年国勢調査から長きにわたり、統計調査の必要性を深く認識し、正確な統計調査に努められてきました。このほどの平成17年国勢調査における功績が認められての表彰となります。

### ◆統計功績 (指導員)

勝田 忠司さん (羽立)

勝田さんは昭和40年国勢調査から長きにわたり、正確な統計調査にあたったほか、平成12年国勢調査からは統計調査指導員として調査員の指導に努められてきました。このほどの平成17年国勢調査における功績が認められての表彰となります。

## 全国町村監査委員協議会長表彰

### ◆町村等監査功労



工藤 侑さん (八幡)

工藤さんは平成11年に井川町監査委員に任命されて以来、長きにわたり代表監査委員として井川町会計の出納状況監査および決算監査業務に尽力されてきました。

転作の重点作物として大豆のほかにカボチャを選択する計画を練っている。サプリメント(健康補助食品)の製造元から乾燥した半製品を定額で買い付けたという話が持ち込まれた。町で試作品を作り、収支計算をした結果、大豆の作付けのできない東部地区の転作田や遊休農地では有望だと考えている。特に生食用と違って糖度をあげるための芽かきは不要で、労力をかけない粗放栽培でも可能なことが魅力だ。今月15日に説明会を



## 町長日記抄

齋藤 正 寧

行なう予定で、関心のある方はぜひ参加してほしい。

町の収支計算では10ヶ当り4万3千円手取りとなった。収量は8百キにおさえ、乾燥後の歩留まりは18割だったことから半製品は144キとした。キ当り1250円の定額なので、18万円。これから肥料、種、乾燥、輸送等の経費13万7千円を差し引いた。10ヶ当り40株を植え、株当り10個の収穫を見込んでいる。町の栽培実績をベースにしたが通常、1トは収穫できると言うから、作付け株数など検討の余地はありそうだ。経費も

最大の見込んでいるが、本当のところ6万円程度の手取りを目標としたい。

現在のところ、作付け希望者は10人前後で2.5ト。乾燥品で3.6ト。実際は最低でも30ト、100ト単位でも引き取りたいというのが製造元の本音。カボチャのほかにブロッコリーの葉や根、ケールなども欲しいと言う。こうした動向は作物に含まれる成分が病気の予防に役立つことがアメリカの研究機関で実証されたためらしい。アスパラ

ガスの栽培が盛んな横手市では規格外品や出荷のため切り落とした根茎から有効成分の抽出に成功し、製品化している。

本町のカボチャは加工を主としたねらいであるが、一部は有機・無農薬も試行したい。生食用としてマザーズ・グループと結び付けるため具体的に詰めたいと考えている。米価の不振や転作兼業機会の減少などで農家所得は低下の一方だが、ただ座すばかりでなく、農家も町ももっと所得向上のため食欲でありたい。

# 井川こどもセンターは、『認定こども園』として

## 地域の子育てを支援します



従来、幼稚園と保育所は保護者の就労の有無で利用が限られていたり、近年は子育てについての不安や負担を感じている保護者への支援が不足しているなどの課題が指摘されてきました。これらの社会状況や保育ニーズ等を踏まえ、国では「就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律」を制定し、幼稚園と保育所の機能を一元化した総合施設を都道府県が認定する「認定こども園」制度が平成18年10月から施行されました。

「認定こども園」制度とは①就学前の子どもへの幼児教育および保育を一体として提供する機能、②地域における子育て支援を行なう機能を有した施設を認定する制度で、県内では井川こどもセンターをはじめ5施設が認定を受けました。去る11月16日県庁知事室において県知事より認定証が授与されています。

本町では旧東・西こどもセンター時代から幼保一元化に積極的に取り組み、乳幼児から就学前児童（0歳児～5歳児）に至るまで、それぞれの成長過程に必要な幼児教育と保育の提供につとめてきました。平成10年からは分散していた施設を統合し、井川こどもセンターを開設。従来と同様に幼保一体となった子育て支援を続けてきました。

幼児教育と保育の連携や集団活動・異年齢交流を通じた育ちを目的とするこのたびの認定は、幼保一体とした従来の井川町の理念と何ら変わることはなく、今後より充実した地域の子育て支援を展開していくための指標と位置づけられます。

またすべての子育て家庭において子育てに関する不安に際する相談活動や親子が集い交流する場の提供なども従来どおり行なっています。地域の子どものための健やかな成長を支える中核施設として井川こどもセンターを活用ください。

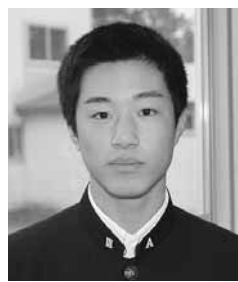
### 【問い合わせ】

- 井川町教育委員会  
電話 (874) 4424 有線4538
- 井川こどもセンター  
電話 (874) 4152 有線4444

税を正しく理解して税に対する意識を高めてほしいと中学生を対象に行なわれる「中学生の税についての作文コンクール」で入賞した方の作文をご紹介します。

### 秋田北地区納税貯蓄組合連合会長賞

#### 「税金に支えられて」



井川中学校3年 佐藤 涼さん

らの豊かな生活は失われてしまってもいいのである。

税金の良いところは、税金を払うことでより安全でより充実した生活ができるということである。

しかし多くの人は税金をなるべく払いたくないと考えるが、逆に多く払えば払った分だけ、安全で充実した生活ができるのではないだろうか。税金は「払わされている」のではなく、自分たちの生活のために自分から「払っている」と思うことで税金に対するマイナスのイメージは少し消えるのではないだろうか。また、税金には直接税と間接税がある。その間接税の中には消費税があるが、これは私たちの生活に最も身近な税である。例えば少しのお金を支払っている自分でも納税者なのだ。また、直接税には所得税がある。所得税は累進課税制度をとっている。この制度のおかげで国民の貧富の差を小さくしている、これも税金の良いところのひとつだと自分は思う。

今、私たちがしなければならぬことは、『税について知る』ということではないだろうか。税の悪いイメージにとらわれてばかりでなく、自分から税について正しく知ることが私たちに必要なことなのではないか。税について知り、税の仕組みを理解し、積極的に国の政治に参加することが私たちの将来の安全と充実につながると思う。そしてそれが国や国民を豊かにすることにもつながっていくのではないと思う。

ふと、税金について考えてみると、税金は意外に中学生にも関わっていることに気がついた。例えば今、住んでいる町営の住宅は町が税金を使って建ててくれたものだし、毎日通っている学校も国や県、市町村が建ててくれたものである。ほかにも税金は医療費や警察、消防、ごみ処理費用なども負担している、私たちの生活に大きく関わっていることに気がつく。

最近、税金がムダ使いされていることや、税金の滞納者が増えていることを新聞やテレビニュースでよく見かける。これは国民に対して、税金の大切さや必要性を正しく理解させていないからではないだろうか。国は国民に税についてきちんと説明することが必要だし、私たちは税についてきちんと

の意識を変えなければ、これか

た

ら

の

こ

の

こ

の

こ

の

こ

の

こ

# 街のいい顔み~つけた!



生涯学習だより

# 花いかだ

TEL(874)4422 有線4443

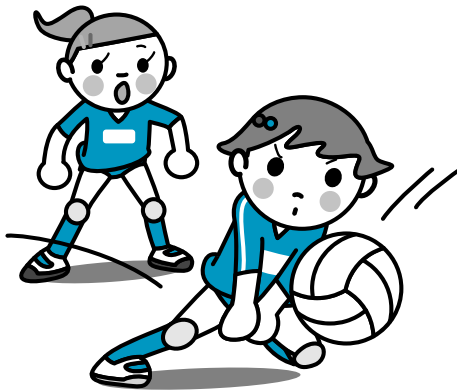
## 12月の公民館行事

### 芸文協クリスマスコンサート

- と き：12月17日(日) 午後1:30~
- 会 場：井川町公民館
- 内 容：生バンド演奏(ウキアガラボーイズ)  
カラオケ(伊藤要井川カラオケ教室)
- 参加費：1人 500円(軽食あります)

### 第22回井川町オープンバレーボール 第9回ソフトバレーボール大会

- と き：12月10日(日)
- 時 間：午前9:00
- 会 場：井川町民体育館
- 申込方法：当日、午前8時までに町民体育館へ  
申し込みください。



## いろんな世界が待ってるヨ!

公民館図書室

今年ももうすぐ終わりです。何となくあわただしい年末の日々。でも夜はゆっくり本を読んでみませんか? 今月の本の紹介をいたします。

**味方につける技術** 朝倉千恵子/PHP研究所

上司、部下…対人関係の悩みはこの1冊で解消! タイプ別、シチュエーション別にマンガ、イラストでやさしく解説。だんまり、無反応な人。妙に調子。愛想のいい人。熱血体育会系上司。すぐに結論を出せと言われたとき。上司が思いつきで、部下を振りまわすとき。部下にやる気がないとき。

**あなたを変える101の英知** ロビン・シャーマ/海竜社

3週間続ければ一生が変わる。人生の質を高める意識革命! 行動しなければ、なにも始まらない! 小さな習慣が人をつくる。新しい習慣は、新しい靴に似ています。最初の2、3日は履き心地がよくありません。でも3週間くらいたつと慣れてきて、第二の皮膚のようになるでしょう。はじめは人が習慣をつくり、そして習慣が人をつくる。

**無形の力** 野村克也/日本経済新聞社

弱者の戦略の原点がここにある。楽天再生に挑む。目に見えない力が人生を変える。壁にぶちあたったときに私はいつも知恵を絞ってきた。どうしたら貧しさから抜け出せるのか、どうしたらプロ選手として大成できるか。才能とは頭脳に埋め込まれた情報である。人間は目には見えない能力を持っている。そして、それらをフルに使うことでいい仕事ができる。私はこの言葉を常に囁み締め、野球をしてきたのである。

**子どもたちの目輝いていますか** 水谷 修/日本評論社

夜の暗い部屋で、夜の暗い街角で、子どもたちが苦しんでいます。明日を見失っています。気づいていますか? どうぞ、子どもたちを見てください。子どもたちの足取り、軽いですか。変わります。変えられます。私たち大人からのちょっぴりの優しさで変えましょう。

教室・講座	開催日	備考
いかわキッズ・クラブ	3日、17日(日)	会場 今戸児童会館 内容 今戸願人踊り
和太鼓サークル	9日(土)	会場 公民館
英会話教室	6日、13日、20日	会場 公民館
いかわ元気アップ塾	5日、19日(火)	会場 町民体育館
紙粘土教室	15日(金)	会場 公民館

教室・講座	開催日	会場
レッツトライ暮らしの手芸	8日、22日(金)	会場 公民館
いきいき女性セミナー	15日(金)	会場 公民館
井川高齢大学・大学院	22日(金)	会場 公民館
煎茶教室	16日(土)	会場 公民館
お茶を楽しむ	26日(火)	会場 公民館

12月の公民館活動



11/10

アルバム、思い出してごらん  
第7回さくら苑祭

特別養護老人ホームさくら苑では、第7回目となるさくら苑祭が行なわれ、会場には地域の方々など大勢が集まりました。

オープニングでは施設職員と利用者による合唱が披露され、「思い出のアルバム」などに耳を傾けました。また、燦然の会（小武海洋一さん・新屋敷）による歌謡ショーも催され、利用者らは楽しい一日を過ごしました。



11/11

地域と共に歩んだ20年の節目を祝う  
井川町福祉会・桐ヶ丘20周年記念式典

身体障害者療護施設・桐ヶ丘療護園が20周年の節目を迎え、このほど井川町福祉会発足および桐ヶ丘療護園開園20周年記念式典が行なわれました。

「開所以来、地域交流を深め、地域と共に伝統を築いてきたことに感謝したい」と井川町福祉会・渡部均理事長が式辞を述べ、参席者と喜びを分かち合いました。



11/18

ふるさとを想い、盆踊りを舞う  
第18回首都圏ふるさと井川会総会

首都圏ふるさと井川会総会が東京都新宿区日本青年館で開催され、首都圏の会員80人のほか、首都圏秋田県人会8人、町より町長はじめ7人が参加し、交流を深めました。

総会では役員改選が行なわれ、山崎光男会長（井内出身）が再任されたほか、祝賀会ではキングレコードの南翔一郎さんの歌謡ショーや盆踊りなどを楽しみました。



11/29

昔ながらの手さばきを披露して笑顔  
井川小・高齢大学交流学習

井川小学校では小学3年生50人と高齢大学70人による交流学習が行なわれました。

開会にあたり高齢大学を代表して森田孝治さん（小今戸）が「年に一度のこの会をおいしいさん、おばあさんはとても楽しみにしています」とあいさつ。その後は生徒たちと手をつないでの校内見学、また縄ないやしめ飾りづくりを通じて交流しました。



## 町内レポート「ごみ収集の現場から」



▲一般家庭ごみとして出された農業資材。  
これらは「可燃ごみ」としてではなく、「農業用  
廃プラスチック」として処分すべきものです。



▲畑で採れた野菜類（大根）が不用となり、家庭  
ごみとしてへ出されたと見られるもの。EMボ  
カシなどを活用して堆肥化できるのでは…。



▲庭木の剪定などで出される枝木や花き類の束が  
積まれた集積所わき。剪定枝等は60cm程度  
の長さにそろえて紐などで束ねて集積所へ。  
ただし、量が過度のものも家庭ごみと呼べるの？

11/22

## 地域のごみ問題に意見が集まる 第2回町内会長会議

平成18年度第2回町内会長会議が役場大会議室で行なわれました。開会にあたって齋藤町長が「各町内会からの要望については現場等を精査し、予算との兼ね合いの中で実施していきたい。また地域の中で出来ることは地域で取り組んでほしい」とあいさつ。続いて町内会長会・伊藤満洲雄会長が「町内会長は町内の代表として定期的に役場に足を運び、地域と行政との橋渡し役になってほしい。それが協働のまちづくりの基礎となるだろう」と提言しました。

会議では役場各課から「ごみの減量化」「飲酒運転の追放」「冬期間の公共施設等の管理」などについて連絡があったほか、町内会から提出された要望事案の内訳が示されました。要望事項で多くだされたものは①町道の改良舗装、②側溝整備、③街灯、カーブミラー設置が大半を占めています。

協議では、ごみ問題に議論が集まり、ある町内会からは「地域の現状から集積所を1箇所増やし、より大きなものを設置したが、全然減ることがない。入れ物が大きくなって増え続けるばかりだ」と地域の現状が伝えられました。



11/12 第43回全町卓球大会

### 【団体の部】

- 1位 井川中OGチーム
- 2位 親父組
- 3位 街道チーム、頑張隊チーム

### 【個人の部】

#### ◆男子1部

- 1位 畠山 昭（上村）
- 2位 中山正美（小今戸）
- 3位 中山英悦（街道）

#### ◆男子2部

- 1位 澤石 聡（井内）
- 2位 菊池勇拓（スポーツ主事）
- 3位 伊藤 譲（街道）

#### ◆女子1部

- 1位 半田若子（羽立）
- 2位 中山知明（街道）
- 3位 進藤鮎子（宇治木）

#### ◆女子2部

- 1位 石井郁子（施田）
- 2位 伊藤 聖（今戸）
- 3位 安田奈菜（小学生）

#### 〃 三浦真紀子（小竹花）

#### ◆中学生の部

- 1位 鈴木奈津美
- 2位 佐藤真綾
- 3位 伊藤美香、伊藤りか

#### ◆トップ8の部

- 1位 畠山 昭（上村）
  - 2位 半田若子（羽立）
  - 3位 中山正美（小今戸）
- 〃 鈴木奈津美（中学生）

# くらしの 情報

## 12月

役場の電話番号・メールアドレス  
URL <http://www.town.ikawa.akita.jp/>  
ホームページに関すること  
webmaster@town.ikawa.akita.jp

総務企画課	
総務班 soumu@town.ikawa.akita.jp	874-4411
企画財政班 soumu@town.ikawa.akita.jp	874-4411
税務町民課	
税務班 zeimu@town.ikawa.akita.jp	874-4414
町民サービス班 tyoumin@town.ikawa.akita.jp	874-4416
健康福祉課	
福祉保健医療班 kenkou@town.ikawa.akita.jp	874-4417
保険班 kenkou@town.ikawa.akita.jp	874-4417
産業建設課	
産業班 sangyou@town.ikawa.akita.jp	874-4418
農業委員会 nougyou@town.ikawa.akita.jp	874-4419
建設班 kensetu@town.ikawa.akita.jp	874-4420
水道課 suidou@town.ikawa.akita.jp	874-4421
出納室 suitou@town.ikawa.akita.jp	874-4412
教育委員会 kyouiku@town.ikawa.akita.jp	874-4424
公民館 (農村環境改善センター)	874-4422
歴史民俗資料館	874-4423
議会事務局 gikai@town.ikawa.akita.jp	874-4425

◇役場窓口業務の時間延長◇  
毎週火曜・水曜日は午後7時まで  
住民票、印かん証明書の発行等の  
窓口業務を行っています。

### 身近なことから、人権について考えてみませんか？

12月4日から10日までは、人権週間です。法務省と全国人権擁護委員連合会は、世界人権宣言が採択された翌年の昭和24年から毎年12月10日の「人権デー」を最終日とする一週間を人権週間と定め、人権尊重思想の普及・啓発活動を全国的に展開しています。

#### 人権・困りごと相談所を開設します

人権に関する困りごとをお受けする相談所を開設します。相談は無料で、秘密は守られます。

### 「歳末たすけあい募金」への協力をお願いします

今年も「歳末たすけあい運動」を実施します。この運動でみなさんから寄せいただく義援金は、日常生活に困っている世帯や一人暮らし高齢者の方、在宅の要援護者の方などのために使われます。

### 無事故で今年を締めくくり ― 年末の交通安全全県民総ぐるみ運動 ―

12月は年末を迎え、何かと気ぜわしい季節となります。例年、この時期は忘年会などで飲酒する機会も多くなり飲酒運転による重大事故や、積雪・道路凍結により交通事故が多発する傾向にあることから、12月11日から20日までの10日間「飲酒運転の徹底追放」「子どもと高齢者の交通事故防止」「シートベルトとチャイルドシートの着用の徹底」の3点を重点に『年末の交通安全全県民総ぐるみ運動』を実施します。

#### ◎子どもと高齢者の交通事故防止

子どもと高齢者の交通事故の原因は、歩行中の直前横断や飛び出し、自転車乗車中の安全不確認、一時不停止などによって多く発生しています。ドライバーの方は子どもと高齢者を思いやりと優しい運転で交通事故から守りましょう。

また冬期間中は朝夕に路面が凍結したり、平地では路面が乾いていても山間部では雪が積もっていることがあります。積雪・凍結路面では追突事故などの危険がはるかに大きくなります。車間距離を十分にとつてスピードをひかえ、安全運転を心がけてください。

#### ◎飲酒運転の徹底追放

「ほんのわずかな飲酒」が悲惨な交通事故につながります。ドライバーはもちろん、周囲の方も注意しあつて飲酒運転を根絶しましょう。

#### ◎シートベルト等の着用の徹底

シートベルトとチャイルドシートはドライバーや同乗者の命綱です。乗車中は正しく装着しましょう。

「歳末たすけあい運動」にみなさんのご理解と、あたたかいご支援をお願いします。

【問い合わせ】井川町共同募金会  
(井川町社会福祉協議会内)  
電話(874) 2611 / 有線4440

▼近隣との争いごと ▼子どもや高齢者への虐待 ▼配偶者からの暴力 ▼登記・戸籍、相続・扶養等の問題 ▼名誉や信用を傷つけられたときなど

□日時 12月8日(金)  
午前10時から午後3時まで

□会場 町健康センター

□相談担当 人権擁護委員・佐藤秀弘さん(小泉)、伊藤典美子さん(今戸)、伊藤満洲雄さん(街道)

【問い合わせ】役場税務町民課  
電話(874) 4416 / 有線4441

## 農業委員会からのお知らせ「農業者年金」に加入しましょう

これからの日本は、高齢化および人口減少が加速化していくと予測されています。現役を退いた後の長い老後を安心して暮らすためには、若年からの備えが必要です。

農業者年金は少子・高齢化による加入者数の変化や財政事情に左右されない、安全・安心な年金制度です。担い手への保険料の助成や税金控除などのメリットがあり、農業の担い手確保に資する公的年金制度として位置づけられています。

### 【農業者年金のメリット】

◆国民年金被保険者で年間60日以上農業に従事している方は誰でも加入できます。

◆認定農業者など一定の要件を備えた方に対しては保険料への国庫助成があります。

◆月額2万円から6万7千円まで、個々の生活に見合った保険料を自由に選択できます。

◆年間最大80万4千円の所得控除が受けられます。支払われる年金も公的年金控除が適用されます。

◆途中でやめても年金が受けられ、80歳保証付（加入者・受給者の方が80歳までに受け取るはずであった年金を遺族の方に死亡一時金として支給）の終身年金です。

【問い合わせ】井川町農業委員会

電話（874）4419／有線4497

## 運転免許証の更新は最寄りの警察署でも申請できます

これまでの運転免許証の更新申請は、住所地を管轄する警察署と運転免許センターで受付してきましたが、このほど運転免許証更新時の利便性を高めるため、秋田県内に住所地のある方において、秋田市以外の全警察署にて申請を受付できるように制度を改めました。

これにより今まで、住所地を管轄する警察署で行っていた更新申請が、職場近くの警察署で行なうことも可能

となり、例えば、井川町に住所を有する方が能代警察署や男鹿警察署などの管轄外の警察署で免許更新手続きを行なうことができますようになりました。

□更新申請を受付する警察署

①秋田市を除く県内の全警察署

（申請後、指定された日時に講習を受け、講習後に交付）

②運転免許センター

（従来どおり県内のどの住所地でも受け、即日講習及び交付）

## 国民年金からののお知らせ 年金記録を確認し、将来の年金受給に備えよう

社会保険庁では、平成9年に年金制度間に共通する「基礎年金番号」を導入し、それまでに加入していた国民年金・厚生年金等の年金手帳記号番号を基礎年金番号に記録することにより、各年金制度を通じた記録の整備に取り組んでいます。

◆電話で申し込み  
基礎年金番号がわかる方は本人確認を行なったうえで、年金加入記録を自宅に郵送します。  
『年金ダイヤル』  
電話0570（05）1165

◆インターネットで確認  
基礎年金番号がわかる方は社会保険庁ホームページより年金加入記録閲覧の申し込みが可能です。  
（URL <http://www.sia.go.jp/>）

◆社会保険事務所へお越しください  
基礎年金番号がわからない方は、本人確認ができる書類（運転免許証・健康保険証等）を持参して最寄りの社会保険事務所へお越しください。  
【問い合わせ】秋田社会保険事務所  
電話018（883）1970

## 年末年始の「ごみの収集」のお知らせ

【年末】可燃ごみ 12月29日（金）まで収集  
それ以外のごみ 12月28日（水）まで収集

【年始】いずれのごみも 1月4日（水）から収集

★町清掃センターでは12月29日～1月3日までごみの受入れはできません。

★新年のごみ収集は、1月4日（不燃ごみ・空き缶）から収集を開始します。

【問い合わせ】

役場税務町民課 電話（874）4416／有線4441  
町清掃センター 電話（874）2030／有線3600

## 湖東3町商工会共通商品券販売中

湖東3町商工会では、共通商品券を販売しています。

共通商品券は10割のプレミアム付で1万円〜1万1千円分の商品券が購入できます。五城目・八郎潟・井川町の3町で加盟店ポスターを掲示している店舗で利用できます。使用期限は平成19年2月28日（水）まで。

◇商品券販売窓口

湖東3町商工会（五城目事務所・八郎潟事務所・井川事務所）ほか

【問い合わせ】湖東3町商工会

電話018（875）3460



◆2歳児

松田 陽奈ちゃん  
(新屋敷)



◆3歳児

遠藤 快ちゃん  
(小今戸)

井川町役場 ☎018-874-4411

URL <http://www.town.ikawa.akita.jp/>

E-mail [webmaster@town.ikawa.akita.jp](mailto:webmaster@town.ikawa.akita.jp)

今月のお知らせ

見て！  
みて！

### 離職者支援資金借入相談会

失業もしくは廃業によって生活の維持が困難となった世帯を対象に、生活資金の借入れ相談に応じます。離職者支援資金の借入れを希望される方は、当日会場へおいでください。借入れ希望者個別に面談します。

□日時 12月6日(水)

13:00～16:00

□会場 秋田県社会福祉会館 9階  
第1会議室(秋田市山王)

□対象 生計中心者で失業等から2年以内の方。雇用保険受給終了者。就労することで生活の見通しのある方(負債で生計維持が困難な方は不可)。

□備考 自営業者は廃業届(所管税務署で受付)及び求職受付票が必要。雇用保険非加入者は離職証明書及び求職受付票が必要。

【問い合わせ】

社会福祉法人 秋田県社会福祉協議会  
電話018(864)2711

### 一日法務局なんでも相談所の開設

秋田地方法務局では、「一日・法務局なんでも相談所」を開設します。

□日時 12月3日(日)

10:00～16:00

□場所 秋田駅・トピコ3階

□内容 遺産相続・土地の境界の問題、登記の手続き、地代・家賃等の供託、戸籍・国籍、夫婦・家庭内の問題、虐待・セクハラ・差別問題等について、法務局職員が相談を受けます。

【問い合わせ】

秋田地方法務局 総務課  
電話018(862)6531

### 平成19年度

#### 国有林モニターを募集します

東北森林管理局では、国有林の役割やそれを取り巻く現状を理解し、国有林の管理及び経営にみなさんの声を役立てていく取り組みとして「国有林モニター」を募集しています。

□募集期間 12月1日～28日

□募集対象 東北森林管理局管内(青森・秋田・岩手・山形・宮城)に住み、国有林に関心のある方。募集人数は48人

□依頼期間 平成19年4月～20年3月

□内容 ・国有林に関するアンケート  
・モニター会議への出席等

【問い合わせ】

東北森林管理局 国有林モニター係  
電話018(836)2274

### 防衛庁(自衛隊生徒)採用試験

□試験種目 自衛隊生徒

□応募資格 平成19年4月1日現在、15歳以上17歳未満男子で、中学卒業者または19年3月卒業見込み者

□受付期限 平成19年1月9日(月)

【問い合わせ】

自衛隊秋田募集案内所(秋田市茨島)  
電話018(864)4929

### スギヒラタケ摂食についての注意

スギヒラタケとの関連性が疑われている急性脳炎・脳症の原因が究明されるまでの間、腎機能が低下していない方も含め、摂食を見合わせください。

【問い合わせ】秋田地域振興局

電話018(855)5173

## 防犯所だより

井川警察官駐在所 有線4421  
電話(874)2345

### 年末年始 犯罪を防止しよう 身のまわり二重ロックで締めくくり

師走の時期は思いがけない凶悪事件や交通事故が発生します。警察では、事件や事故を未然に防止し、町内の皆さんが安心して年末年始を過ごせるよう、防犯協会や交通安全協会等と連携して特別警戒を実施します。

みなさんも気を引き締め、被害を受けないためにも次の点に気をつけてください。

◎ドロボウ対策は近所と協同して  
・外出の際には近所に留守を頼んで空き巣を防止。  
・不審な人を見かけたらすみやかに警察に通報を。

### ◎家の外周を再確認

・夜は街灯などで玄関を明るく  
・窓の下近くには足場に利用されるような物を置かない。出しっぱなしのハンゴは片付けよう。  
・窓の錠は主錠のほかに補助錠をつけましょう。格子戸や防犯ガラスも有効です。  
・風呂場の窓は換気が終わったら忘れずに施錠を。

### ◎自動車盗難・車上ねらいを防止

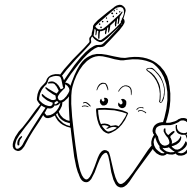
・車を離れるときは必ず鍵かけ。  
・車内は金庫ではありません。貴重品は家に保管しましょう。  
・バック等、その気にさせる物を車内に放置しない  
・自動車盗難防止機器(イモビライザー等)も有効です  
・自転車盗難には、「ワイヤーロック」「チェーンロック」の二重ロックで予防を。

# 12月のカレンダー

- 2日(土) 井川小学習発表会
- 8日(金) 人権困りごと相談所  
(10:00～ 健康センター)
- 9日(土) 井川こどもセンターまつり
- 10日(日) オープンバレーボール大会  
(9:00～ 町民体育館)
- 13日(水) 一人暮らし高齢者激励会  
(12:00～ 老人福祉センター)
- 26日(火) 井川小・中学校冬季休業
- 28日(木) 官公庁仕事納め

## ぼくたち、むしばなかつたよ

2歳児・3歳児健診で、  
むし歯のなかつたこどもたちです



じゅんな  
遠藤純奈ちゃん  
(街道)



ヒビキ  
伊藤陽日葵ちゃん  
(横岡)



リコ  
伊藤莉子ちゃん  
(坂本)



ヒナ  
二田妃那ちゃん  
(羽立)



ヨシアキ  
伊藤喜明ちゃん  
(田中)

## 保健だより 12月分

### 健康相談・母子健康手帳交付・わいわい広場

月日	健診名	内容	時間・会場
12月4日 18日	健康相談	健康・栄養・睡眠に関する相談	9:00～17:00 健康センター
	母子健康手帳交付	母子健康手帳・妊婦健康診査受診票の交付 保健指導、栄養指導	
毎週月曜日 ※祝日は除く	わいわい広場	乳幼児・親等が対象。みんなで遊びながら 情報交換や相談(育児、栄養等)もできます	9:30～11:30 健康センター等

## わいわい広場だより

### インフルエンザと風邪の違い

インフルエンザも通常の風邪と同じだと思っている方はいませんか? インフルエンザは通常の風邪よりも症状が重く、死に至ることもあります。また、短期間で大流行を引き起こすのも特徴の一つです。

インフルエンザの予防としては、流行前に予防接種を受けることですが、予防接種を受けたら絶対にインフルエンザにかからないというわけではありません。外出後のうがいや手洗い等を心がけるようにしましょう。

	通常の風邪	インフルエンザ
原因	ウイルス 細菌・寒冷刺激 クラミジア マイコプラズマ	インフルエンザウイルス
感染力	感染力は弱く、ウイルスは徐々に増える。	感染力は強く、ウイルスが気管の粘膜で急激に増加する。
主な症状	のどの痛み 鼻がムズムズする 水のような鼻水 くしゃみや咳 腰痛など	38度以上の発熱や鼻水 頭痛、関節痛や筋肉痛等の全身症状 のどや胸の痛み 下痢や腹痛
流行	徐々に感染が広がっていく。	短期間に膨大な数の人に感染する。
その他の特徴	発熱もあるがインフルエンザほど高くなく、重症化することはめったにない。	肺炎などを併発し、重症化することが多い。 短期間に小児から高齢者まで感染が広がる。 65歳以上の高齢者での死亡率が高まる。

【問い合わせ】井川町健康センター  
電話(874)3300/有線4455

### すくすく学級・乳児健診・1歳6ヵ月児健診・2歳児歯科検診

月日	健診名	対象者	内容	受付時間・会場
12月5日 (火)	1歳6ヵ月児健診	H17年3月～5月生	身体計測、保健指導 内科診察、栄養指導	13:00～13:30 健康センター
	2歳児歯科検診	H16年7月～9月生	歯科検診	
12月19日 (火)	すくすく学級	H18年9月生まれ	身体計測、保健指導 離乳食について	9:30～9:45 健康センター
	乳児健診	18年8月、5月、2月、 17年12月生まれ	身体計測、保健指導 内科診察、栄養指導	

○健診の時は、問診票、母子健康手帳、バスタオルをお忘れなく  
○7ヶ月児は離乳食指導がありますので1時までに受付を済ませてください

### 予防接種

月日	区分	対象者	受付時間・会場
12月11日 (月)	ポリオワクチン投与	H17年6月9日～H18年9月12日生まれ および7歳6ヵ月未満で未実施の子	13:30～14:00 井川町診療所
12月18日 (月)	三種混合予防接種	H17年12月16日～H18年9月19日生まれ および7歳6ヵ月未満で未実施の子	13:30～14:00 井川町診療所
12月25日 (月)	B C G接種	H18年6月23日～H18年9月26日生まれ	13:30～14:00 井川町診療所

### 子宮がん・乳がん検診の予約

対象：元号(昭和)の偶数年生まれの方

医療機関	実施日及び受付時間	予約受付先
湖東総合病院で検診を希望する方	月～土 9時～11時(第2・4土曜日を除く)	病院・福祉活動室 電話875-2100
	木～金 9時～11時、13時30分～14時30分	
秋田組合総合病院で検診を希望する方	月～金 7時45分～8時(検診受付)	病院・福祉活動室 電話880-3013
	【電話予約は毎週月～金曜日の13時～16時まで】	
千葉医院で検診を希望する方(子宮がんのみ)	月～土 9時～11時	千葉医院 電話875-5360
	月～金 14時～16時	

### 食生活改善推進員養講座・協議会研修会

月日	内容	受付時間・会場
12月13日 (水)	・「野菜接種奨励プログラム調査」における採血、身体状況調査等(8:30～12:30)	8:30～12:30 農環センター
12月14日 (木)	・調理実習(10:30～12:30)	

# みんなの ひろば



中山 翼さん(小今戸)  
警察官になって、日本を守りたいです。



中道 聖也さん(今戸)  
田舎でのんびり暮らしたいです。



渡部 歩さん(小泉)  
やさしい看護師になって、お世話をしてあげたいです。



鷺谷 美妃さん(海老沢)  
おかし屋になって、みんなをよろこばせるおかしを作りたいです。



## 短歌

井川短歌会詠草

担当医の「早く治して帰ろっね」  
 傷の足の痛みやわらぶ  
 きのうより今日また紅し長芋を握りつつ望む丘の紅葉は  
 小林 喜作  
 世話になるときもあらんと思いつつ施設への清拭布せいしきふを丹念に縫つ  
 遠藤恵美子  
 それぞれに体の痛み言いあいてひたる出で湯の紅葉さかる  
 伊藤ミヤ子  
 図書館にひとり『草枕』を読みおれば誰が読みしや栞挟まる  
 鈴木 鉦造  
 辛いこと悲しきことのあるたびに心を癒してくる友あり  
 工藤 美穂  
 どの家も軒に干柿吊るされて庭木囲いに励む人見ゆ  
 渡部 光造  
 雷鳴のとどろく音に目が覚めて眠れぬままに熱き茶を呑む  
 小林 タミ  
 冴えわたる半月をひとり仰ぎつつ賑わいし今日の旅に浸りぬ  
 児玉千代子  
 奥山はすでに初冬の装いに変わりておりぬ今朝の寒さに  
 すずきいさむ



## クリスティーナの 楽しい英会話

この英会話は、毎週水曜日に定時有線放送で放送します。  
 「ひとくち英会話」のテキストとしてご利用ください。

Merry Christmas!  
 メリークリスマス

Christmas is celebrated December 25<sup>th</sup> of each year in the United States, and many other countries. Christmas is the day celebrated as Christ's day of birth. Many countries and regions celebrate Christmas. All over the world Christmas is celebrated differently.

In America, Santa Clause comes to each home in the nighttime. He leaves presents for children. Christmas morning is a time to open the presents and eat a large ham or turkey.

In Finland, presents are given at dinner. The dinner is codfish and ham.

In Spain, Midnight Mass is held at church. In the nighttime, children's shoes are filled with presents. On Christmas morning, the Three Wise Men bring gifts to families.

In South America, Santa Claus is named Papa Noel. Since weather is very nice, most celebration is in the streets.

Thanks for listening, and have a Merry Christmas!

クリスマスは12月25日、アメリカや他の多くの国々で祝われます。クリスマスはキリストの生誕をお祝いする日です。多くの国や地域がクリスマスをお祝います。世界中でお祝いの仕方は異なります。

アメリカではサンタクロースが夜中に家にやって来ます。彼は子どもたちにプレゼントを置いていきます。クリスマスの朝にそのプレゼントを開け、大きなハムや七面鳥を食べるのです。

フィンランドでは、プレゼントは夕食の時に渡されます。夕食はタラやハムなどです。

スペインでは、教会で真夜中のミサが行われます。夜中、子どもたちのくつはプレゼントでいっぱいになります。クリスマスの朝には三人の賢者が家族に贈り物を持って来ます。

南アメリカでは、サンタクロースはパパノエルという名です。天気がとてもよいので、ほとんどのお祝いが通りで行われます。

## 明るく安全な地域へ



“明るい街づくり”の一助として、東北電力(株)秋田営業所と(株)ユアテック秋田営業所から防犯灯および設置工事一式が町に寄贈され、去る11月6日、町役場内において目録の贈呈が行なわれました。

地域安全と防犯対策支援として贈られた防犯灯は、県道北ノ又井川線沿い(町民体育館付近)をはじめ、町内全域にわたり12基。徒歩や自転車等で通勤通学する方々の利便と防犯対策の観点から、特に街灯の設置が望ましい箇所を選定し、このた

びの設置となりました。ありがとうございました。



## テレホンカードが当たる

# 広報クイズ No.184

### ◆今月の問題

- (1) 平成18年度いかわを拓く町民のつどいのテーマは何でしたか?
- (2) 井川こどもセンターが「〇〇こども園」に認定されました。〇〇を埋めてください。

### ◆応募の方法

ハガキにクイズの答え、住所、氏名、年齢、町内の方は世帯主名を記入してください。

### ◆あて先

〒018-1596 井川町北川尻字海老沢樋ノ口78-1  
井川町役場 税務町民課 広報担当まで

### ◆しめきり

12月20日(水) 当日消印有効

クイズの正解者の中から抽選で3人の方にテレホンカードをプレゼントします。前回の答えは(1)かんそうゴーヤの佃煮(2)262人でした。当選者の発表は、テレホンカードの発送をもって代えさせていただきます。



鷺谷 心優ちゃん(1歳)



海老沢町内  
(母・和樹さん  
・和美さん)

1歳のお誕生日おめでとう!  
これからも元気にすくすく  
育ててね!

## ガンバル高校生191



秋田商業高校  
バスケットボール部

鈴木 桜さん(2年・横岡)  
浅野 彩さん(2年・今戸)  
鷺谷 絵弥さん(2年・海老沢)

「小・中学から同じコートでプレーしてきた仲間だから、互いに気持ちがかかり合える。練習がつかない時や試合でミスしたときには励ましてくれ、心強い」と口をそろえる。秋田商業高校バスケットボール部には信頼に結ばれた3人の笑顔があります。

チームでは副キャプテンとして、またコート上ではセンタープレーヤーとしてチームを支える鈴木桜さんは「自分より身長の高い相手でも1対1で負けない強さとスピード」が目標。  
「試合ではどんな状況や不利な体勢であっても、決めるべきところで確実にシュートを決められる選手になりたい」と話すのはフォワードの浅野彩さん。  
またボール回し等ゲームを組立てるポジションの鷺谷絵弥さんは「選手それぞれの良い引き出しを出せるよう、広く周りに目を配れるガード」を目指す。  
先に行なわれた大会では「ボールに対するねばりの気持ちが相手より弱かった」と振り返る3人。12月上旬に行なわれる新人戦・中央支部大会でのリベンジを誓っていました。

### 人口などの動き

(11月1日現在)

- ・人口 男 2,782人 (-31)  
女 3,141人 (-18)  
計 5,923人 (-49)
  - ・世帯数 1,779戸 (+8)
- ( ) 内は前年同月との比較

慶

弔

だより

(10/21~11/20)

#### ■お誕生おめでとう

伊藤 <sup>カズナリ</sup>一成 (一真、忍)

#### ■ご結婚おめでとう

♡ 渡部 勝 (新 間)  
大瀨知恵子 (男鹿市)

♡ 青木 大輔 (秋田市)  
鷺谷英里子 (海老沢)

♡ 伊藤 翼 (中下村)  
伊藤 舞香 (八郎潟町)

♡ 湊 康喜 (坂 本)  
渡部 景子 (秋田市)

#### ■お悔やみ申し上げます。

湊 キヨノ (90歳・坂 本)

高橋 久 (85歳・新 間)

菅生喜代治 (85歳・綱木沢)

伊藤 ヒサ (81歳・中下村)

武埜 ぬゆ (88歳・街 道)

## 善 意

#### ■地域福祉基金へ

- ・井内町内の三浦吉衛さんより、亡父吉郎さんの香典返しとして
- ・新聞町内の高橋敏巳さんより、亡母久さんの香典返しとして
- ・羽立町内の半田博宣さんより、亡父定男さんの香典返しとして
- ・仲台町内の菅生 勉さんより、亡父喜代治さんの香典返しとして
- ・新屋敷町内の遠間義孝さんより、亡母ミヤ子さんの香典返しとして
- ・坂本町内の古戸金則さんより、一般寄付金として

“ありがとうございました”

#### 施設の利用状況 (10月)

( )内は累計

- 環境改善センター…………… 1,976人 (9,022人)
- 歴史民俗資料館…………… 31人 ( 203人)
- 町民体育館…………… 1,465人 (11,232人)
- 町民武道館…………… 677人 (5,185人)
- 町営野球場…………… 417人 (5,212人)
- スポーツ交流館…………… 387人 (1,844人)
- 定住促進センター…………… 1,542人 (10,780人)
- 日本国花苑施設…………… 4,115人 (14,899人)
- 老人福祉センター…………… 1,567人 (9,940人)
- ごみ処理量…………… 107 t ( 619 t)
- し尿処理量…………… 83ℓ ( 521ℓ)



濱野邦昭／1951年山口県に生まれる。東京芸術大彫刻科卒。山口県美術展・最優秀賞、第1回ロダン大賞展・彫刻の森美術館賞をはじめ受賞多数。

#### 緑の風に誘われて (瞑想)

ブロンズ (129.0×150.0×72.0 cm)

濱野 邦昭 (山口県)

彫刻を前にして、愉しいと思うのは作品の周囲に広がっていく新しい空間を発見できることである。そんな時、作家の想いにすっと触れられたような喜びがあつて心が弾む。が、そういう作品に出会うことはなかなか難しい。

秋田県立近代美術館

副館長 小笠原光

「自然の中で生命の喜びを謳う」という作者のねらいは確かに作品の中に息づいている。新しい世界に飛び出そうとする命。新しい世界に飛び出そうとする命。新しい世界に飛び出そうとする命。

濱野の作品にはうずくまったような柔らかな塊の中に命の芽吹きが感じられる。外に向かう秘められたエネルギーが我々をとらえて、新しい世界へと導いてくれるような喜びに満ちている。

「緑の風に誘われて」と題されたこの作品は、苑地の奥にあるちびっこ広場を見わたせる芝生の中に置かれた。周囲の雑木や小さな丘は楽しげに躍動する少女の舞台、柔らかな芝生は子供と楽しげに手をつなぐ母をやさしく抱きとめるだろう。そして作品が作りだした新しい空間は見なれた風景をもっともっとと広く深い世界に変えてくれるに違いない。



▼固定観念から抜けだせないと言っているのか、発想力が乏しいと言っているのか。できるだけ見やすい広報であるようにと文章やレイアウトを組み合わせるのですが、毎度のことながら似たりよったりの構成に落ちてしまっています。▼11月上旬、役場全職員を対象とした町内企業研修が行なわれ、(株)スズキ部品秋田社を見学する機会を得ました。「我流を捨て、基本に返る」と目標に掲げ、日々生産率率の向上とコストダウンの命題に真っ向から取り組む職員の姿勢を垣間見て、自身の甘えを痛感…。▼約半年間休載して唐突に再開した編集雑記の原稿用紙に向かいながら感じることは、広報に対する思いが慣れ合いになっていって、編集するなかで新たに挑む気持ちを持つ。どこかで妥協点を見出し、止まっていたことでした。▼町の広報には「伝えたいこと」「伝えなければいけないこと」が記されています。伝えなければいけないことを伝えるためには、まず手にしてもらうことが第一歩目。己を反省しつつ「自己流を捨て」を新年の目標にと、空模様とスタッドレスタイヤを見比べています。これだけは考えずまでも無くやらなさい。